



城南 坂

校長だより No.3
R7. 4. 16(水)
校長：佐々木雄治

学校教育目標 「志と誇りを持ち 主体的に行動する生徒の育成」

「勢い」と「一体感」のある生徒会活動を

今週はすっきりしない天候が続いており、春季大会が目前に迫る中、屋外で活動する部活動にとっては、コンディション調整が難しい状況です。来週末からの始まる春季大会はどの部活動にとっても、中総体の行方を占う大切な大会であり、冬場の練習成果が試される場でもあります。もてる力を出し切り、夏に向けた手応えと課題を確認する機会にしてほしいと思います。今週末には抽選会が行われ、それぞれの競技日程や会場、組合せなどが決定します。秋田市中学校体育連盟のホームページに各種目ごとの組合せが後日掲載されますので、右のQRコードのリンクからご確認ください。城南中生のみなさんは全力でプレーするのはもちろんのこと、各競技会場では他校の先生方や審判員の方などを含め、大会運営にお力添えいただいている方や応援してくれる家族などに対して、敬意と感謝を込めて「おはようございます」「お疲れ様です」「ありがとうございます」などのあいさつを元氣よく爽やかに行うとともに、会場使用のマナーに気を配ったり、持ち物や道具の整理整頓を心がけたりするなど、愛される城南中生としての姿をしっかりと発揮してきてください。私も都合のつく限り各競技会場へ応援に行きたいと思います。がんばれ城南中生！

4月15日(火)6校時に、前期生徒会任命式を行いました。生徒会長の呼名に応える大きな返事と各委員会の3年生代表生徒による決意表明から生徒会スローガンである「輝望」あふれる学校づくりに取り組んでいこうとする決意が感じられ、令和7年度の城南中生徒会の始動を実感しました。任命式の終わりに、私から全校生徒に次の話をしました。

今日から城南中生徒会が本格的にスタートするにあたって、城南中生一人一人に心がけてほしいことを、ここに持ってきたオルゴールを使ってお伝えします。まずはオルゴール

を鳴らしますので、何の曲が流れているのか耳を澄まして聞いてください。後ろの1・2年生のところまで聞えたでしょうか？では、次にこのオルゴールの音を、ピアノの力を使って大きくしたいと思います。（ピアノの中にオルゴールを入れて鳴らし、共鳴させる）どうでしょうか。さっきよりもオルゴールの音が大きくなったのが分かるでしょうか。これは共鳴という現象で、ピアノには弦の音を反響させる仕組みがあります。オルゴールの小さな音を、ピアノの力を借りて大きく響かせることができます。今日の任命式で、それぞれの立場で活躍するリーダーのみなさんが任命されましたが、生徒会活動は、リーダーだけが声をあげてがんばってもオルゴールの音のように小さな音にしかありません。それを大きく響かせるためのピアノの役割を果たすのは、リーダーを支える人たちです。そうした人たちをフォロワーと呼びますが、全校生徒のみなさんが、フォロワーとしての役割を自覚し、リーダーの声を響かせていく姿勢で活動することが大切です。リーダーのそばにいて、リーダーの呼びかけに応じて積極的に動く、そんな仲間の存在がとても重要です。リーダーが呼びかけたら大きな声で返事をして心を合わせてください。

3年生のみなさんは、みなさんの仲間であるそれぞれの立場のリーダーの言葉にしっかりと応えていきましょう。

2年生のみなさんは、先輩として1年生にすてきな姿を見せながら、3年生をしっかり支える役割をがんばりましょう。

1年生のみなさんは、先輩たちを良きお手本として、一日も早く城南中生徒会の一員として力を発揮できるように、何事にも積極的に取り組んでいきましょう。

そして、城南中全校生徒のみなさん。大事なのは勢いと一体感です。愛される城南中学校を目指して、リーダーを中心に生徒会活動を盛り上げていきましょう。